1. 刊行物等

(1) 農林技術開発センター研究報告 第11号(令和3年3月) 550部 87p

| 執筆者氏名 | 表題 |
|---------------------------|---|
| 前田 衡、松本尚之 | イチゴ「ゆめのか」における環境条件の違いと光合成特性 |
| 久村麻子 | 年明け開花作型秋輪ギク「神馬」の EOD-heating 処理による暖房コスト削減 |
| 池森惠子、市村一雄、中山久之、前田瑛里 | 3月出荷作型トルコギキョウへの炭酸ガス施用が花弁の糖組成と形質,および収 穫後の品質保持に与える影響 |
| 平山裕介 | 長崎県内の農耕地土壌の現状と変化ー土壌定点調査(1979〜2018 年)の結果より- |
| 山下次郎、柴田真信 | 高機能性発酵茶原料用として採取した摘果ミカン果実の採取後の管理と防除体 系および経営収支 |
| 谷本恵美子、富永由紀子、河原幹子、園田望 夢 | ビワ果実における酵素剥皮の難易要素と剥皮後の品質および種子・内皮の除去 方法 |

(2)農林技術開発センター業務報告

| 資 料 名 | ページ数 | 発行日 |
|-------------------------|------|------|
| 平成31年度長崎県農林技術開発センター業務報告 | 99 | R2.5 |

(4)研究成果情報

| (4) 研究成果情報 | | | |
|------------------|--|----------|-------|
| 分類 | 情 報 名 | 担当部門·室名 | 担当者名 |
| 普及に移しうる 成果 | 水稲中生品種「恋初めし」の特性 | 作物研究室 | 中山美幸 |
| 技術指導の参 考となる成果 | 長崎県におけるバレイショ「アイマサリ」の春作マルチ栽培での目標 収量到達日の試算シート作成およびマップによる可視化 | 研究企画室 | 土井謙児 |
| | マイクロウェットミリング法による緑茶ペースト製造時の原料茶葉割合とペーストの粘度 | 食品加工研究室 | 土谷大輔 |
| | マイクロウェットミリング法における粒子感が気にならない緑茶ペーストの製造法 | 食品加工研究室 | 土谷大輔 |
| | マイクロウェットミリング法により製造した緑茶ペーストの加熱殺菌条件と保存方法 | 食品加工研究室 | 土谷大輔 |
| | ビワ果肉の急速凍結および解凍後の褐変抑制技術 | 食品加工研究室 | 稗圃直史 |
| | 半自動移植機の苗ガイド改良によるペーパーポットレタス苗の植付 精度向上効果 | 干拓営農研究部門 | 山田寧直 |
| | 諫早湾干拓地における硝酸化成抑制材入り尿素肥料を用いたタマ ネギの窒素減肥栽培 | 干拓営農研究部門 | 清水マスヨ |
| | 諫早湾干拓地のタマネギ栽培におけるリン酸資材施用効果と作土 の可給態リン酸含量 | 干拓営農研究部門 | 清水マスヨ |
| | 浅層弾丸暗きょの作土層排水効果 | 干拓営農研究部門 | 宮嵜朋浩 |
| | ロボットトラクターによる自動走行作業 | 干拓営農研究部門 | 宮嵜朋浩 |
| | 米粉用・飼料用水稲品種「笑みたわわ」の特性 | 作物研究室 | 中山美幸 |
| | 水稲品種「なつほのか」の早期栽培における特性 | 作物研究室 | 中山美幸 |
| | 早期栽培における水稲「なつほのか」の収穫適期 | 作物研究室 | 古賀潤弥 |
| | 二条大麦「はるか二条」の出穂期予測および登熟積算気温の目安 | 作物研究室 | 千々岩諒太 |
| | 裸麦「長崎御島」の出穂期予測および登熟積算気温の目安 | 作物研究室 | 千々岩諒太 |
| | 硬質小麦「長崎 W2号」の出穂期予測および登熟積算気温の目安 | 作物研究室 | 千々岩諒太 |

| 二条大麦「はるか二条」の穂肥時期と子実重、品質の関係 | 作物研究室 | 千々岩諒太 |
|---|------------|-------|
| 水田裏作中生タマネギにおける耕うん同時うね立て施肥マルチ栽培の収量性 | 野菜研究室 | 柴田哲平 |
| 高軒高ハウスにおけるトマト促成長期どり土耕栽培の株間は35 cmより40 cmが適する | 野菜研究室 | 柴田哲平 |
| 高軒高ハウスにおけるトマト促成長期どり土耕栽培の収量特性 | 野菜研究室 | 柴田哲平 |
| 高軒高ハウスにおけるトマト促成長期どり養液栽培の収量特性 | 野菜研究室 | 柴田哲平 |
| イチゴ「ゆめのか」における間欠冷蔵処理の収益性 | 野菜研究室 | 岩永響希 |
| イチゴ「ゆめのか」における年内葉面積と収量 | 野菜研究室 | 芋川あゆみ |
| 秋輪ギク「神馬」の日射比例かん水による増収効果 | 花き・生物工学研究室 | 久村麻子 |
| 秋季から高品質の切り花が採花できるカーネーション有望系統「長崎 14012」の特性 | 花き・生物工学研究室 | 鍵野優子 |
| ラベンダーにおける低温輸送および花穂が若い状態での出荷による日持ち日数の延長および開花率の向上 | 花き・生物工学研究室 | 渡川友里恵 |
| ラナンキュラス「シロッコ」における品質保持剤の効果 | 花き・生物工学研究室 | 渡川友里恵 |
| ラベンダー品種「長崎 Lav3」「しずか」の冬季出荷作型の開発 | 花き・生物工学研究室 | 櫨山妙子 |
| ドローンによる航空防除は、春作バレイショのアブラムシ類と疫病を 地上散布並みに抑えることができる | 馬鈴薯研究室 | 川本 旭 |
| ヒノキ原木丸太の短期保管における虫害防除はシートによる全面被 覆が有効である | 森林研究部門 | 吉本喜久雄 |
| 森林におけるドローン空撮画像からオルソ画像を作るためのラップ 率の把握 | 森林研究部門 | 鎌田政諒 |
| 造粒石灰を用いたシイタケ人工ホダ場のナメクジ被害の抑制 | 森林研究部門 | 近重朋晃 |
| 立木プロット調査から採材方法を検討するためのバイオマス量を含む採材集計表 | 森林研究部門 | 田嶋幸一 |
| イネごま葉枯病が発生した3圃場における土壌化学性の特徴 | 土壤肥料研究室 | 五十嵐総一 |
| アスパラガス収量と土壌物理性の関係 | 土壤肥料研究室 | 平山裕介 |
| イチゴ「ゆめのか」育苗期における土着天敵保護によるハダニ類の 密度抑制 | 病害虫研究室 | 高田裕司 |
| タマネギベと病(一次伝染)の発病抑制に効果的なセルトレイから開始する薬剤散布体系 | 病害虫研究室 | 難波信行 |
| 露地栽培カンキツ「不知火」のシロクローバー草生栽培においてシロクローバーと樹体間の窒素吸収競合は無い | カンキツ研究室 | 法村彩香 |
| 長崎県における収穫後のナシ黒星病の防除適期 | カンキツ研究室 | 内川敬介 |
| ビワ「なつたより」に適した芽かきの処理方法と処理時期 | ビワ・落葉果樹研究室 | 古賀敬一 |
| 加工向けビワの長期(60~90 日)鮮度保持技術 | ビワ・落葉果樹研究室 | 園田望夢 |
| 酵素剥皮のビワを丸ビワにする長所・短所と改善方法 | ビワ・落葉果樹研究室 | 谷本恵美子 |
| 「オキナワ」台木を利用したモモ「さくひめ」の加温開始可能時期の判断法と開花促進効果 | ビワ・落葉果樹研究室 | 松本紀子 |
| ビワ混合発酵茶原料に適した茶品種「さきみどり」 | 茶業研究室 | 藤井信哉 |
| 茶早生品種「さきみどり」は抹茶の色が優れる | 茶業研究室 | 中尾隆寛 |
| 一番茶収穫後の浅刈更新による二番茶収穫時期の延伸とビワ発酵 茶原料の適性 | 茶業研究室 | 藤井信哉 |
| ルーメンバイパスメチオニンの給与が黒毛和種去勢牛の枝肉成績 に及ぼす効果 | 大家畜研究室 | 井上哲郎 |
| 排水不良圃場での栽培に適する暖地型飼料作物草種および品種 の選定 | 大家畜研究室 | 二宮京平 |
| ギ酸を添加した飼料給与が離乳豚の死亡事故抑制に及ぼす効果 | 中小家畜•環境研究室 | 松本信助 |
| 対馬地鶏肉用交雑鶏へのビワ葉混合発酵茶製造加工残渣の給与 効果 | 中小家畜•環境研究室 | 松永将伍 |
| | | |

| | 対空標識を設置しない場合の測量用ドローンと汎用ドローンの測量 | | 636 |
|------------------|--|------------|--------------|
| 映すべき成果 | 差 | 森林研究部門 | 鎌田政諒 |
| | 雲仙普賢岳におけるガリー浸食量 | 森林研究部門 | 近重朋晃 |
| 研究および技 術開発に有効 | 長崎県における普通期水稲登熟前期の気温のマップによる可視化 とその変動傾向 | 研究企画室 | 土井謙児 |
| な成果 | 長崎県における水稲早植え限界日のマップによる可視化とその変動傾向 | 研究企画室 | 土井謙児 |
| | 長崎県におけるビワの寒害遭遇リスクのマップによる可視化とその 変動傾向 | 研究企画室 | 土井謙児 |
| | 長崎県におけるチャ「やぶきた」の一番茶萌芽期のマップによる可 視化とその変動傾向 | 研究企画室 | 土井謙児 |
| | バレイショの機能性成分含量に与える加熱加工の影響 | 食品加工研究室 | 森 友美 |
| | 作型が異なるレタス栽培における収量・品質と栽培中の積算温度の 関係 | 干拓営農研究部門 | 山田寧直 |
| | 硝酸化成抑制材入り尿素肥料を用いたタマネギの窒素減肥栽培に おけるリン酸資材施用と貯蔵性 | 干拓営農研究部門 | 清水マスヨ |
| | 野菜用高速施肥機の作業能率と早生キャベツ及びブロッコリーの2 段施肥の効果 | 干拓営農研究部門 | 山田寧直 |
| | 直進アシストを用いた耕うん作業の作業精度と作業者の評価 | 干拓営農研究部門 | 宮嵜朋浩 |
| | 諫早湾干拓地営農者が持つ営農課題とスマート農業に対する意向 | 干拓営農研究部門 | 宮嵜朋浩 |
| | ドローン空撮による基盤整備水田の畑利用における排水対策実態 解明 | 干拓営農研究部門 | 山田寧直 |
| | 水稲「恋初めし」の高密度播種・移植栽培への適応性 | 作物研究室 | 中山美幸 |
| | イチゴ「恋みのり」の土耕栽培における電照の効果 | 野菜研究室 | 芋川あゆみ |
| | イチゴの炭疽病耐病性品種を素材とした炭疽病強耐病性交配母本 の育成 | 野菜研究室 | 前田 衝 |
| | イチゴ「恋みのり」の土耕栽培における基肥施肥量 | 野菜研究室 | 岩永響希 |
| | 秋輪ギク「神馬」における重量と茎径の相関関係 | 花き・生物工学研究室 | 久村麻子 |
| | 秋輪ギク「神馬」の光合成特性 | 花き・生物工学研究室 | 久村麻子 |
| | 夏秋輪ギク「精の一世」の長期冷蔵保管中の加湿処理が日持ちに 及ぼす影響 | 花き・生物工学研究室 | 久村麻子 |
| | 8月高需要期出荷に適した露地電照夏秋小ギク品種 | 花き・生物工学研究室 | 鍵野優子 |
| | 萎凋細菌病抵抗性を有する可能性の高いスプレーカーネーション 有望系統「長崎 R7-263」の特性 | 花き・生物工学研究室 | 鍵野優子 |
| | 1~2月出荷作型トルコギキョウの3波長LED長日処理と環境制御 栽培効果 | 花さ・生物工学研究室 | 前田瑛里 |
| | オリジナル性の高いラナンキュラス有望系統「長崎75」「長崎149」 の特性 | 花さ・生物工学研究室 | 櫨山妙子 |
| | 有効積算温量に基づくジャガイモ疫病の初発生時期の推定 | 馬鈴薯研究室 | 菅 康弘 |
| | 中山間地バレイショ圃場におけるドローンの自動飛行防除時の作業時間シミュレーション | 馬鈴薯研究室 | 川本 旭 |
| | ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性バレイショ育種素材「長系 169 号」 | 馬鈴薯研究室 | 坂本 悠 |
| | 青枯病抵抗性主要遺伝子に連鎖した DNA マーカーの開発 | 馬鈴薯研究室 | 波部一平 |
| | バレイショ塊茎を丸くする遺伝子に連鎖した DNA マーカーの開発 | 馬鈴薯研究室 | 波部一平 |
| | 有毒成分を合成しない野生種由来遺伝子の栽培種への導入と有 毒成分合成遺伝子に連鎖した DNA マーカーの開発 | 馬鈴薯研究室 | 波部一平 |
| | バレイショ「アイマサリ」の4月収穫に適する施肥量 | 馬鈴薯研究室 | 松本健資 |
| | バレイショ「アイマサリ」の作型および出荷時期別にみた収益性 | 馬鈴薯研究室 | 松本健資 |
| | 「春あかり」「さんじゅう丸」を交配親に用いると、そうか病抵抗性が中ないしやや強の個体が得られやすい | 馬鈴薯研究室 | 飯野慎也 |
| | | | |
| | ナメクジ被害の抑制に有効な資材(造粒石灰、粒状消石灰)の特性 | 森林研究部門 | 近重朋晃 |
| | ナメクジ被害の抑制に有効な資材(造粒石灰、粒状消石灰)の特性 長崎市八郎岳周辺における人工林のシカによる被害と下層植生の 嗜好性 | 森林研究部門 | 近重朋晃 溝口哲生 |

| 되도)로 Pitz 는 플러 Pi Michigary Harrier 12 프 파 | * 11.777 //2 47 00 | \# → +r. /L. |
|---|--------------------|--------------|
| 対馬における広葉樹伐採跡の萌芽による更新 | 森林研究部門 | 溝口哲生 |
| 実生ヒノキ1年生コンテナ苗の系統別による成長量 | 森林研究部門 | 柳本和哉 |
| ヒノキエリートツリー品種及びその候補品種の初期成長は精英樹由 来の普通苗と同等である | 森林研究部門 | 吉本貴久雄 |
| 早生樹の幼齢期における風害状況と対策 | 森林研究部門 | 小関 薫 |
| 水稲「なつほのか」の生育診断にもとづく穂肥前地上部窒素吸収量 の推定 | 土壤肥料研究室 | 五十嵐総一 |
| 加工・業務用キャベツにおける適正な窒素施肥量 | 土壤肥料研究室 | 芳野 豊 |
| 硝酸化成抑制材入り尿素を利用した秋作ブロッコリーの減化学肥料栽培 | 土壤肥料研究室 | 五十嵐総一 |
| イチゴにおけるククメリスカブリダニによるアザミウマ類の防除効果 | 病害虫研究室 | 永石久美子 |
| イチゴ本圃で発生するチャノキイロアザミウマの系統 | 病害虫研究室 | 永石久美子 |
| アスパラガス栽培でのアザミウマ類、コナジラミ類を対象としたスワルスキーカブリダニとインセクタリープラントの組み合わせによる殺虫剤使用回数の低減 | 病害虫研究室 | 菅 伸子 |
| ウンシュウミカンにおける点滴かん水同時施肥技術による早期樹勢 回復および生産安定効果 | カンキツ研究室 | 石本慶一郎 |
| 「長崎果研原口1号」の収穫時期の違いによる浮き皮の抑制と果実 品質への影響 | カンキツ研究室 | 前田良輔 |
| 近赤外光照射による極早生ウンシュウの着色抑制 | カンキツ研究室 | 山下次郎 |
| 過冷却促進エキス散布によるカンキツ「不知火」「南津海」のす上が り軽減効果と青果率向上 | カンキツ研究室 | 山下次郎 |
| 施設中晩生カンキツ草生栽培圃場における天敵製剤放飼によるミカンハダニに対する防除時期 | カンキツ研究室 | 柴田真信 |
| ビワがんしゅ病 ${\bf C}$ グループ菌抵抗性個体を選抜可能な ${\bf SSR091}$ および ${\bf SSR085}$ マーカー | ビワ・落葉果樹研究室 | 坂口龍之介 |
| 矮性系統ツバキ葉を用いたツバキ混合発酵茶の機能性成分および 香味 | 茶業研究室 | 藤井信哉 |
| 未利用資源であるビワ葉混合発酵茶製造加工残渣の飼料価値 | 中小家畜•環境研究室 | 深川 聡 |
| 対馬地鶏卵肉兼用鶏の鶏卵の卵質や理化学的特性の特徴 | 中小家畜·環境研究室 | 松永将伍 |
| 豚舎汚水に浸漬した ALC 粉末肥料のイタリアンライグラスに対する 施用効果 | 中小家畜·環境研究室 | 深川 聡 |

(5)センターニュース

| (0) 27 / / - | | | |
|-------------------|-------|-------|-------|
| 資 料 名 | 号 数 | 発行年月 | 発行部数 |
| | No.34 | R2.7 | オンライン |
| 長崎県農林技術開発センターニュース | No.35 | R2.11 | オンライン |
| | No.36 | R3.3 | オンライン |

(6)主要な試験成績書(令和元年度に印刷・発行した成績書)

| 部門•室名 | 成績書名 | 版型·頁数 | 発行部数 |
|-----------|---------------------|--------|--------------|
| 作物研究室 | 2020 年度水稲関係除草剤試験成績書 | A4•19 | 110 |
| 野菜研究室 | 令和元年度 野菜試験成績書 | A4 | 電子媒体のみ |
| 土壤肥料研究室 | 令和2年度土壌肥料に関する成績書 | A4•131 | 外部への配布 なし |

(7) 九州沖縄農業研究成果情報 第33号(令和3年1月 九州沖縄農業試験研究推進会議)

| 分 類 | 成 果 情 報 名 | 担当者名 |
|--------|-----------------------------------|-----------------|
| 研究成果情報 | カーネーションの萎凋細菌病検出法における BIO-PCR 法の有効 | 渡川友里恵、波部一平、堀田光生 |
| | 性と検定使用部位 | |
| 研究成果情報 | ブドウ「BK シードレス」におけるジベレリン浸漬処理回数の違いによ | 古賀敬一、松浦 正 |
| | る果実特性 | |
| 研究成果情報 | オキナワ台木を利用したモモ「さくひめ」のハウス栽培における生育 | 松本紀子 |
| | 相と生育日数 | |

| 普及成果情報 | 極晩生ギニアグラス「うーまく」を活用した高粗タンパク質含量での | 二宮京平、緒方 剛、後田正樹 |
|--------|---------------------------------|----------------|
| | 収穫適期幅の延長 | |
| 研究成果情報 | 黒毛和種子牛育成期の濃厚飼料多給時期が粗飼料摂取量と発育 | 上野 健、井上哲郎、小田恭平 |
| | に及ぼす効果 | |
| 研究成果情報 | ミカンジュース粕を暑熱期の赤玉採卵鶏に給与すると卵質の低下を | 松永将伍、深川 聡 |
| | 抑制できる | |
| 研究成果情報 | 軽量気泡コンクリート粉末肥料を用いた浄化処理水中のリン除去の | 深川 聡、西山 倫 |
| | 効果 | |

(8)ながさき普及技術情報 第39号(令和2年11月 長崎県農林部農産園芸課)

| | 技術情報 第39号(令和2年11月 長崎県農林部農産園芸課) | | |
|------------------|---|------------|-------|
| 分 類 | 情 報 名 | 担当部門·室名 | 担当者名 |
| 普及に移しうる | 6次産業化シミュレーションツールの開発 | 研究企画室 | 土井謙児 |
| 成果 | β-クリプトキサンチン高含有ミカン果汁の 8 週間摂取による内臓脂肪面積減少効果 | 食品加工研究室 | 中山久之 |
| | ミカン混合発酵茶葉顆粒物の摂取による冷えおよび肩のこり改善効果 | 食品加工研究室 | 中山久之 |
| | ミカン混合発酵茶葉顆粒物の摂取による疲労感の軽減および睡眠 の質向上効果 | 食品加工研究室 | 中山久之 |
| | 普通期栽培における水稲「なつほのか」の収穫適期 | 作物研究室 | 古賀潤弥 |
| | 摘心処理による大豆「フクユタカ」の安定栽培法 | 作物研究室 | 山中勝浩 |
| | 赤紫色夏秋小ギク有望系統「長崎 SRC2」の開花特性 | 花き・生物工学研究室 | 久村麻子 |
| | 凋細菌病抵抗性を有するカーネーション新品種「ひめかれん」の特性 | 花き・生物工学研究室 | 竹邊丞市 |
| | スマホアプリ「e-土壌図Ⅱ」で長崎県土壌改良基準・土壌管理方法 が確認できる | 土壌肥料研究室 | 平山裕介 |
| | クロタラリアと鶏ふん堆肥を利用した秋作ブロッコリーの減化学肥料 栽培 | 土壌肥料研究室 | 五十嵐総一 |
| | タマネギベと病の一次伝染株初発時期の積算温度による推定 | 病害虫研究室 | 中村吉秀 |
| | 露地ビワ果実腐敗の開花期間における防除は、摘蕾適期に開始す ると効果が高い | カンキツ研究室 | 内川敬介 |
| | ミカン未熟果と茶葉を利用した水溶性へスペリジン含有ミカン混合 発酵茶の製造法 | 茶業研究室 | 宮田裕次 |
| | 黒毛和種雌牛の肥育前期粗飼料多給時における中後期飼料用米 給与の効果 | 大家畜研究室 | 高山政洋 |
| 技術指導の参 考となる成果 | 諫早湾中央干拓地における1畦2条植えキャベツの生育差発生要 因 | 干拓営農研究部門 | 宮嵜朋浩 |
| | タマネギ栽培の防除作業における防除用ドローン導入の経営的評価 | 干拓営農研究部門 | 宮嵜朋浩 |
| | タマネギ定植直後の薬剤散布における防除用ドローンの定植苗へ の影響と作業性 | 干拓営農研究部門 | 宮嵜朋浩 |
| | 硝酸化成抑制材入り尿素肥料を用いた年内どりレタスの窒素減肥 栽培 | 干拓営農研究部門 | 清水マスヨ |
| | 水稲「恋初めし」の収量特性 | 作物研究室 | 中山美幸 |
| | 裸麦「長崎御島」の子実重に関係する生育量と倒伏程度 | 作物研究室 | 下山伸幸 |
| | 普通期栽培における水稲「なつほのか」の施肥法 | 作物研究室 | 古賀潤弥 |
| | イチゴ「ゆめのか」における光反射資材の収量増加効果 | 野菜研究室 | 松本尚之 |
| | | | |
| | イチゴ「恋みのり」における光反射資材の収量増加効果 | 野菜研究室 | 松本尚之 |
| | イチゴ「恋みのり」における育苗期窒素中断の有無による頂花房の 花芽分化および年内収量 | 野菜研究室 | 岩永響希 |
| | 黄色夏秋小ギク有望系統「4336Y2」の開花特性 | 花き・生物工学研究室 | 久村麻子 |
| | 秋季から高品質の切り花が採花できるカーネーション有望系統「長崎 Ca7」の特性 | 花き・生物工学研究室 | 竹邊丞市 |
| | 1~2 月出荷作型トルコギキョウの 3 波長 LED の長日処理によるブラスチング軽減効果 | 花き・生物工学研究室 | 池森恵子 |
| | 暖地バレイショ品種の春作マルチ栽培で目標収量に達する時期の 予測 | 馬鈴薯研究室 | 坂本 悠 |

| | バレイショ「アイマサリ」の4月収穫に適する種いも | 馬鈴薯研究室 | 龍美沙紀 |
|------------------|---|-----------|-------|
| | はえ積みしたヒノキ丸太の固有振動数または応力波伝播速度による含水率の推定 | 森林研究部門 | 溝口哲生 |
| | ヒノキコンテナ苗は根鉢の 1/2 カットで軽量化した苗でも植栽できる | 森林研究部門 | 吉本貴久雄 |
| | マツノマダラカミキリの2年1化生のマツ材線虫病感染力は低い | 森林研究部門 | 吉本貴久雄 |
| | 早生樹の主軸被害 | 森林研究部門 | 吉本貴久雄 |
| | 水田裏作タマネギ栽培における耕うん同時うね立てマルチ被覆から 定植までのマルチうね内土壌の EC および無機態窒素の推移 | 土壤肥料研究室 | 齋藤 晶 |
| | 定点調査データベースからみた水田土壌の可給態ケイ酸と可給態 リン酸の推移 | 土壤肥料研究室 | 平山裕介 |
| | イチゴ「恋みのり」のうどんこ病および輪斑病の発病特性 | 病害虫研究室 | 難波信行 |
| | タマネギベと病の一次伝染株発病抑制に効果的な薬剤散布時期 | 病害虫研究室 | 中村吉秀 |
| | 加温施設栽培におけるウンシュウミカン「長崎果研原口1号」の有利 性 | カンキツ研究室 | 法村彩香 |
| | アミノ酸・有機酸強化濃縮液株元施用によるウンシュウミカン「長崎 果研させば1号」苗木定植後の生育促進 | カンキツ研究室 | 法村彩香 |
| | ウンシュウミカン「原口早生」においてジベレリン・プロヒドロジャスモンの混合液散布により生じる緑斑・着色遅延は樹体内部で多い | カンキツ研究室 | 石本慶一郎 |
| | スピードスプレーヤ防除体系におけるヒリュウ台「青島温州」の定植 後の販売金額試算 | カンキツ研究室 | 石本慶一郎 |
| | ミカン混合発酵茶に用いる摘果ミカン収穫後の低温施設での保管 および洗浄による鮮度への影響 | カンキツ研究室 | 柴田真信 |
| | ビワ「なつたより」着果枝の4月切り返し処理による開花調整と次年 産結果枝の短縮 | ビワ落葉果樹研究室 | 古賀敬一 |
| | モモ「さくひめ」のハウス栽培における生育相と生育日数 | ビワ落葉果樹研究室 | 松本紀子 |
| | モモ「さくひめ」のハウス栽培における高糖度果実生産のための果 実重 | ビワ落葉果樹研究室 | 松本紀子 |
| | ブドウ「BKシードレス」の品種特性とジベレリン浸漬処理回数の違いによる果実特性 | ビワ落葉果樹研究室 | 古賀敬一 |
| | ミカン混合発酵茶製造に適した茶葉品質 | 茶業研究室 | 藤井信哉 |
| | 長期被覆に適した長崎県茶奨励・認定品種 | 茶業研究室 | 寺井清宗 |
| | 新製茶ハイブリッドラインを用いた茶の販売金額と製造時の所要時間 | 茶業研究室 | 太田 久 |
| | 長崎県のイタリアンライグラスの品質 | 畜産研究部門 | 本村高一 |
| | 乳牛乾乳期間短縮による負のエネルギーバランス改善効果 | 大家畜研究室 | 堤 陽子 |
| | 黒毛和種子牛育成期の濃厚飼料多給時期が粗飼料摂取量と発育 に及ぼす効果 | 大家畜研究室 | 上野 健 |
| | 極晩生ギニアグラス「うーまく」を活用した収穫適期幅の拡大 | 大家畜研究室 | 二宮京平 |
| | 肥育後期のリキッド飼料給与が豚の増体、飼料要求率、肉質および 収支差益に及ぼす効果 | 中小家畜環境研究室 | 松本信助 |
| | ミカンジュース粕を用いた暑熱期における赤玉採卵鶏の卵質低下 抑制技術 | 中小家畜環境研究室 | 松永将伍 |
| | 軽量気泡コンクリート肥料を用いた畜産排水中のリン除去の効果 | 中小家畜環境研究室 | 深川 聡 |
| 行政施策に反 映すべき成果 | 防鹿ネット設置時の工程別の時間割合と首掛かり被害を防ぐメッシュ径 | 森林研究部門 | 柳本和哉 |
| | | | |

(9)試験研究成果地区別報告会

| 部門·室名 | 発表者名 | 発表課題 | 人数 | 場所 | 主 催 | 年月日 |
|-------------|------|--|----|-------|---------------|----------|
| 土壌肥料研究 室 | 平山裕介 | 壱岐市が行うアスパラガスの生産活動のスマート化による生産性の向上と労働負荷の効率化に向けて | 70 | 壱岐市 | 壱岐市役所 | R2.11.21 |
| 土壤肥料研究 室 | 平山裕介 | 長崎県内の農耕地土壌の現状と変 化-定点調査(1979-2018 年)の結 果より- | 52 | オンライン | 長崎県施肥防除 協会 | R3.2.9 |

| 病害虫研究室 | 永石久美子 | アスパラガス研究成果報告会 | 20 | 川棚町 | JA ながさき県央 | R2.12.17 |
|--------|-------|---------------|----|-----|-----------|----------|
| | | | | | アスパラガス部会 | |
| | | | | | 北部支部 | |

2. 学会誌等発表および投稿状況

(1)原著論文(査読あり)

| 執筆者氏名 | 発表課題名 | 発表誌名 |
|--|---|--|
| 波部一平·渡川友理恵·植松紘一·*堀 田光夫 | 萎凋細菌病に感染したカーネーション苗に対する BIO-PCR 法を用いた高感度な検査方法(Sensitive detection of Burkholderia carryophylli in infected carnation seedlings using BIO-PCR) | Journal of General Plant Pathology , 87 , 101-105 |
| *大澤 央·坂本 悠·*秋野聖之·*近 藤則夫 | 長崎県における秋作ジャガイモの乾腐病による萌芽障害に関与する Fusarium acuminatum および Fusarium commune(Autumn potato seedling failure due to potato dry rot in Nagasaki Prefecture, Japan, caused by Fusarium acuminatum and Fusarium commune) | Journal of General Plant Pathology, 87(1), 46-50 |
| 坂本 悠·松尾祐輝·向島信洋·田宮 誠司·草原典夫·森 一幸·渡邊 亘· 龍美沙紀 | 暖地バレイショ主要品種の春作マルチ栽培における生育・収量特性と気象要因との関係 | 日本作物学会九州支部 会報、86、19-22 |
| 龍美沙紀·坂本 悠·山田寧直·松尾 祐輝·茶谷正孝 | バレイショ「アイマサリ」の4月収穫に適した栽培法 -第 1報 4月収穫に適する種いも- | 日本作物学会九州支部会報、86、23-25 |
| 小関 薫·吉本貴久雄·副山浩幸 吉本貴久雄·柳本和哉·森口直哉 | シマハラン林間栽培における青葉化要因 長崎県で確認された2年1世代のマツノマダラカミキリの 発生 | 九州森林研究、74 九州森林研究、74 |
| *田代裕誠·*永野幸生·*次郎丸絢香· 坂口龍之介·稗圃直史·*福田伸二 | 日本で分離したビワがんしゅ病を引き起こす病原体 <i>Pseudomonas syringae pv.</i> の三種のゲノムドラフトシーケンス (Draft Genome Sequences of Three Strains of <i>Pseudomonas syringae pv.</i> eriobotryae, a Pathogen Causing Canker Disease in Loquat, Isolated in Japan) | Microbiology Resource Announcements DOI: 10.1128/MRA.01049-2 |
| *紺野祥平・*杉浦俊彦・谷本恵美子・ 稗圃直史・*蔦木康徳・*山田英尚・*岩 田浩二 | ビワ果実の成熟日予測モデルの開発 | 生物と気象、20、41-48 |
| 深川 聡・大浦昭寛・*石井康之 | 矮性ネピアグラス(Pennisetum purpureum Schumach)の1番草乾草における飼料特性 | 日本暖地畜産学会報、64 |

^{*}は他機関の研究者を示す

(2)論文・発表要旨

| 執筆者氏名 | 発 表 課 題 名 | 発表 誌名 |
|---|--|----------------------------------|
| 稗圃直史•富永由紀子 | 加工用原料としてのビワ果肉の最適な凍結方法 | 九州農業研究発表会発 表要旨集、83、果樹 20 |
| 古賀潤弥·中山美幸 | 水稲早生品種「なつほのか」の幼穂形成期における生育 と収量および品質の関係 | 九州農業研究発表会発 表要旨集、83、作物 6 |
| 前田瑛里·池森惠子·渡部美貴子·* 湯本弘子·*福田直子·*中島聡史·* 橋本浩子·*丸山朋見·*小田真聖 | トルコギキョウ「レイナ(2型)ホワイト」における MeJA 溶液の開花促進効果 | 九州農業研究発表会発 表要旨集、83、野菜花き 34 |
| 波部一平·坂本 悠 | バレイショの塊茎肉色における後代での分離予測 | 育種学研究、23(別 1)、 195 |
| 松本健資·龍美沙紀·坂本 悠·山田 寧直·飯野慎也·松尾祐輝·茶谷正孝 | バレイショ「アイマサリ」の4月収穫に適した栽培法 -第2 報 4月収穫に適する施肥量- | 九州農業研究発表会発 表要旨集、83、作物7 |
| 坂本 悠·*坂田 至·龍美沙紀·山田 寧直·飯野慎也·松本健資·松尾祐輝 | ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性の暖地向けバレイ ショ育種素材の開発 | 育種学研究、23(別 1) |
| 菅 康弘 | ジャガイモ疫病初発生予測プログラム FLABS 長崎版への農研機構メッシュ農業気象データの適用 | 日本植物病理学会報、 86(1)、76 |
| 五十嵐総一・田畑士希・清水マスヨ | クロタラリアと鶏ふん堆肥を利用した秋作ブロッコリーの減 化学肥料栽培 | 日本土壤肥料学会講演 要旨集、66(WEB)、112 |
| 平山裕介•*小林健史•松岡寛智 | アスパラガス生産活動のスマート化による生産性向上と労働負荷の効率化に向けて -第1報 自動かん水システムの確立に向けた土壌調査- | 日本土壤肥料学会講演 要旨集、66(WEB)、97 |

| 吉村友加里・永石久美子・高田裕司 | アスパラガスにおけるスワルバンカー®、インセクタリープラント、化学農薬を組み合わせた総合的病害虫管理技術体系の確立 | 九州病害虫研究会報、66、77 |
|---|---|-----------------------------|
| 高田裕司·古場直美·永石久美子·吉 村友加里·寺本 健 | 諫早湾干拓地における捕食性天敵ゴミムシ類の発生種 の経年変化 | 九州病害虫研究会報、 66、77 |
| 永石久美子·寺本 健·吉村友加里· 古場直美 | イチゴにおけるアザミウマ類に対するプロヒドロジャスモン 液剤の効果 | 九州病害虫研究会報、 66、83 |
| 小嶺正敬·内川敬介 | ビワ果実腐敗を抑制する開花期における防除開始時期 の検討 | 九州病害虫研究会報、 66、75 |
| 古賀敬一•松浦 正 | ブドウ'BKシードレス'の品種特性とジベレリン浸漬処理回数の違いによる果実特性 | 九州農業研究発表会発 表要旨集、果樹 11 |
| 松本紀子 | 低低温要求性台木「オキナワ」がモモ「さくひめ」の開花に 及ぼす影響 | 九州農業研究発表会発 表要旨集、83、果樹 17 |
| 古賀敬一•松浦 正 | ブドウ'BKシードレス'の品種特性とジベレリン浸漬処理回数の違いによる果実特性 | 園芸学会九州支部研究 収録、28、26 |
| 松本紀子 | 低低温要求性台木「オキナワ」がモモ「さくひめ」の開花に 及ぼす影響 | 園芸学会九州支部研究 収録、28、32 |
| 松本信助·深川 聡 | 肥育後期のリキッド飼料給与が豚の増体, 飼料要求率, 肉質および収支差益に及ぼす効果 | 九州農業研究発表会発 表要旨集、83、畜産1 |
| 松永将伍•深川 聡 | ミカンジュース粕の給与が暑熱期における生産現場での 赤玉採卵鶏の卵質に及ぼす影響 | 九州農業研究発表会発表要旨集、83、畜産2 |
| 深川 聡・西山 倫 | 軽量気泡コンクリート(ALC)肥料による浄化処理水中のリン除去の効果 | 九州農業研究発表会発表要旨集、83、畜産14 |
| 上野 健·高山政洋·北島 優·岩永 安史 | 黒毛和種雌牛の肥育前期粗飼料多給時における中後期 飼料用米給与の効果 | 九州農業研究発表会発 表要旨集、83、畜産13 |
| 深川 聡・五十嵐総一 | 豚舎汚水に浸漬した軽量気泡コンクリート(ALC)粉末肥料の施用がイタリアンライグラスの生育に及ぼす影響 | 日本暖地畜産学会報、63 (2)、161 |
| *佐々木啓介·*石田翔太 ·*渡邊源 哉 ·*本山三知代 ·松永将伍 ·*岡 希 ·*大森英之·*萩 達朗 ·*小林美 穂 ·*野村 将 ·*窪田朋代·*本間文 佳 ·*吉田有里·*尾花尚明·*奥村寿 章 ·*松本和典 ·*中島郁世 | COVID-19 流行開始前後における一般消費者の豚肉および牛肉喫食頻度の違い | 日本畜産学会発表要旨集 |

^{*}は他機関の研究者を示す

(3)国際学会発表

| 発表者氏名 | 発 | 表 | 課 | 題 | 名 | <u></u> | 全 会 | 名 | 年月日 |
|-------|---|---|---|---|---|---------|-----|---|-----|
| | | | | | | | | | |

(4)口頭・ポスター発表

| 発表者氏名 | 発 表 課 題 名 | 学 会 名 | 年月日 |
|---|---|--------------------------|------------------|
| 稗圃直史•富永由紀子 | 加工用原料としてのビワ果肉の最適な凍結 方法 | 第83回九州農業研究発表会 | R2.9.28~ 10.5 |
| 宫嵜朋浩·中村吉秀·*小 林雅昭 | タマネギ定植直後の薬剤散布における農薬 散布用ドローンの定植苗への影響と作業性 | 第 74 回九州農業食料工学会研究 発表会 | R2.9.17 |
| 古賀潤弥•中山美幸 | 水稲早生品種「なつほのか」の幼穂形成期 における生育と収量および品質の関係 | 第83回九州農業研究発表会 | R2.9.28~ 10.5 |
| 前田瑛里·池森惠子·渡 部美貴子·*湯本弘子·* 福田直子·*中島聡史·* 橋本浩子·*丸山朋見·* 小田真聖 | トルコギキョウ「レイナ(2型)ホワイト」における MeJA 溶液の開花促進効果 | 第 83 回九州農業研究発表会 | R2.9.28~ 10.5 |
| 波部一平·坂本 悠 | バレイショの塊茎肉色における後代での分 離予測 | 日本育種学会第 139 回講演会 | R3.3.20 |
| 松本健資·龍美沙紀·坂 本 悠·山田寧直·飯野 | バレイショ「アイマサリ」の 4 月収穫に適した 栽培法 -第2報 4月収穫に適する施肥量 | 第 83 回九州農業研究発表会 | R2.9.28~ 10.5 |

| 慎也·松尾祐輝·茶谷正 孝 | _ | | |
|---|---|--------------------------|------------------|
| 川本 旭·菅 康弘 | 春作バレイショにおけるドローンを用いた航 空防除体系の検討 | 九州病害虫研究会 | R3.2.4 |
| 坂本 悠·*坂田 至·龍 美沙紀·山田寧直·飯野 慎也·松本健資·松尾祐 輝 | ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性の暖 地向けバレイショ育種素材の開発 | 日本育種学会第 139 回講演会 | R3.3.19~ 21 |
| 柳本和哉 | 対馬でのニホンジカの行動周期性について | 第 76 回九州森林学会 | R2.10.26~ 31 |
| 五十嵐総一・田畑士希・ 清水マスヨ | クロタラリアと鶏ふん堆肥を利用した秋作ブ ロッコリーの減化学肥料栽培 | 2020 年度日本土壤肥料学会岡山 大会 | R2.9.8 |
| 平山裕介·*小林健史·* 松岡寛智 | アスパラガス生産活動のスマート化による生産性向上と労働負荷の効率化に向けて - 第 1 報 自動かん水システムの確立に向けた土壌調査- | 2020 年度日本土壤肥料学会岡山大会 | R2.9.9 |
| 永石 久美子·高田 裕 司·寺本 健 | イチゴ本圃で発生 し た チャノキイロアザミウマ の 系統 お よ び 被害 | 第 100 回九州病害虫研究会研究 発表会 | みなし開催 |
| *野澤俊介·小嶺正敬·内 川敬介·*渡辺京子 | 狭義 Pestalotiopsis 属菌によるビワ果実腐敗の伝染源の調査 | 令和 2 年度日本植物病理学会関 東部会 | R2.9.28 |
| 古賀敬一•松浦 正 | ブドウ'BK シードレス'の品種特性とジベレリン浸漬処理回数の違いによる果実特性 | 第83回九州農業研究発表会 | R2.9.28~ 10.5 |
| 松本紀子 | 低低温要求性台木「オキナワ」がモモ「さくひめ」の開花に及ぼす影響 | 第83回九州農業研究発表会 | R2.9.28~ 10.5 |
| 谷本恵美子·田﨑望夢· 稗圃直史 | 酵素剥皮を利用した生鮮に近い風味のビワ 加工技術の開発 | アグリビジネス創出フェア | R2.11.11~ 13 |
| 上野 健·高山政洋·北 島 優·岩永安史 | 黒毛和種雌牛の肥育前期粗飼料多給時に おける中後期飼料用米給与の効果 | 第83回九州農業研究発表会 | R2.9.28~ 10.5 |
| 井上哲郎 | 長崎県の肉用牛試験研究等の取り組み状 況 | 日本畜産学会 | R3.3.28 |
| 松本信助·深川 聡 | 肥育後期のリキッド飼料給与が豚の増体, 飼料要求率, 肉質および収支差益に及ぼす効果 | 第83回九州農業研究発表会 | R2.9.28~ 10.5 |
| 松永将伍•深川 聡 | ミカンジュース粕の給与が暑熱期における生産現場での赤玉採卵鶏の卵質に及ぼす影響 | 第83回九州農業研究発表会 | R2.9.28~ 10.5 |
| 深川 聡・西山 倫 | 軽量気泡コンクリート(ALC)肥料による浄化 処理水中のリン除去の効果 | 第83回九州農業研究発表会 | R2.9.28~ 10.5 |
| 深川 聡・五十嵐総一 | 豚舎汚水に浸漬した軽量気泡コンクリート (ALC)粉末肥料の施用がイタリアンライグラスの生育に及ぼす影響 | 第 13 回日本暖地畜産学会 | R2.10.25 |

^{*}は他機関の研究者を示す

(5)専門誌

| 後田経雄 スマート農業の実証~長崎県農林部 農林 技術開発センター~ BIO 九州 229 30-33 橋元大介 黒毛和種去勢牛の早期肥育技術 最新農業技術 畜産 13 87-94 林田誠剛 麗紅 最新農業技術 果樹 13 17-26 林田誠剛 麗紅 農業技術大系果樹編 追録 35 号 86-95 林田誠剛 フロント 三つの願い JATAFF ジャーナル 8(9) 41 韓圃直史 加工原料の周年供給のためのビワ果肉の最適な凍結方法 長崎の果樹 57(6) 26-27 | (2) (1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | | | | |
|---|--|------------------------|--------------|--------|----------------|
| 接田経維技術開発センター〜BIO 九州22930-3:橋元大介黒毛和種去勢牛の早期肥育技術最新農業技術 畜産1387-94林田誠剛麗紅最新農業技術 果樹1317-26林田誠剛麗紅農業技術大系果樹編追録 35 号352 0 86-95林田誠剛フロント 三つの願いJATAFF ジャーナル8(9)41稗圃直史加工原料の周年供給のためのビワ果肉の最 適な凍結方法長崎の果樹57(6)26-22 | 執筆者氏名 | 課 題 名 | 雑 誌 名 | 巻号 | ページ |
| 林田誠剛麗紅最新農業技術 果樹1317-20林田誠剛麗紅農業技術大系果樹編追録 35 号352 0 86-95林田誠剛フロント 三つの願いJATAFF ジャーナル8(9)41稗圃直史加工原料の周年供給のためのビワ果肉の最適な凍結方法長崎の果樹57(6)26-27 | 後田経雄 | | BIO 九州 | 229 | 30-33 |
| 林田誠剛麗紅農業技術大系果樹編追録 35 号352 0 86-99林田誠剛フロント 三つの願いJATAFF ジャーナル8(9)41稗圃直史加工原料の周年供給のためのビワ果肉の最適な凍結方法長崎の果樹57(6)26-27 | 橋元大介 | 黒毛和種去勢牛の早期肥育技術 | 最新農業技術 畜産 | 13 | 87-94 |
| 株田誠剛 麗紅 農業技術大系果樹編 号 86-9: 林田誠剛 フロント 三つの願い JATAFF ジャーナル 8(9) 41 稗圃直史 加工原料の周年供給のためのビワ果肉の最適な凍結方法 長崎の果樹 57(6) 26-2' | 林田誠剛 | 麗紅 | 最新農業技術 果樹 | 13 | 17-26 |
| 神圃直史 加工原料の周年供給のためのビワ果肉の最 適な凍結方法 長崎の果樹 57(6) 26-2 | 林田誠剛 | 麗紅 | 農業技術大系果樹編 | | 352 の 86-95 |
| | 林田誠剛 | フロント 三つの願い | JATAFF ジャーナル | 8(9) | 41 |
| 中山久 <i>ク</i> | 稗圃直史 | | 長崎の果樹 | 57(6) | 26-27 |
| | 中山久之 | β-クリプトキサンチン高含有ミカン果汁飲料の | 長崎の果樹 | 57(10) | 16-17 |

| | 摂取による内臓脂肪面積減少効果 | | | |
|---|---|---|-------------|---------|
| 山田寧直 | Vegetable Production on Isahaya Bay Reclaimed Land | The soils of Japan (World Soils Book Series) Springer | 2021年2 月 | |
| 鍵野優子 | 萎凋細菌病抵抗性を有するカーネーション 新品種「ひめかれん」と「ももかれん」 | 認農ネット | 46 | 10-11 |
| *渡邉和男·*森 元幸·* 浅野賢治·茶谷正孝·坂 本 悠·*大波正寿·*木村 鉄也·*津田昌吾·*津山 睦生 | ジャガイモの品種と基本技術(うち、二期作用品種、秋作栽培、冬作・春作マルチ栽培) | 最新農業技術 作物 | 13 | 87-119 |
| 坂本 悠 | 暖地2期作向け青果・業務加工用品種の育成 一試験経過と「ながさき黄金」「アイマサリ」について一 | いも類振興情報 | 144 | 11-15 |
| 林田雅人 | ツバキ講習会 〜剪定方法と研究成果報告 〜 | 長崎の林業 | 775(4) | 10 |
| 吉本貴久雄 | ヒノキエリートツリー検定林の状況 | 長崎の林業 | 776(5) | 10 |
| 近重朋晃 | 令和2年度の研究紹介 ~森林研究部門~ | 長崎の林業 | 777(6) | 10 |
| 柳本和哉 | 長崎市でのナラ枯れ被害について | 長崎の林業 | 778(7) | 10 |
| 溝口哲生 | 対馬の広葉樹伐採跡の植生(シカの嗜好性 が低い植物) | 長崎の林業 | 779(8) | 10 |
| 小関 薫 | シマハランの青葉化対策 | 長崎の林業 | 780(9) | 10 |
| 溝口哲生 | 含水率が 100%を超える木材!! | 長崎の林業 | 781(10) | 10 |
| 柳本和哉 | 良いヒノキコンテナ苗とは | 長崎の林業 | 782(11) | 10 |
| 鎌田政諒 | ドローンを使って作成したオルソ画像とその 精度について | 長崎の林業 | 783(12) | 10 |
| 鎌田政諒 | ドローンの飛行高度とラップ率について | 長崎の林業 | 784(1) | 10 |
| 鎌田政諒 | ドローン空撮写真の地上解像度について | 長崎の林業 | 785(2) | 10 |
| 小嶺正敬 | 長崎県におけるカンキツ病害の発生動向と 防除対策 | 果実日本 | 75(11) | 14-17 |
| 石本慶一郎 | 果樹園管理のポイント 温州ミカン | 果実日本 | 76(1) | 102-103 |
| 石本慶一郎 | 果樹園管理のポイント 温州ミカン | 果実日本 | 76(2) | 86-88 |
| 石本慶一郎 | 果樹園管理のポイント 温州ミカン | 果実日本 | 76(3) | 86-88 |
| 山下次郎 | 現地報告 先端技術で労働負担を軽減 | 地方議会人 | 50(4) | 24-27 |
| 山下次郎 | 「温州みかんの生産から出荷をデータ駆動 でつなぐスマート農業技術一貫体系の実証」 の取り組み | 認農ネット | 45 | 10-11 |
| 柴田真信 | 4月の重点管理「病害虫防除(柑橘類)」 | ながさきの果樹 | 57(4) | 31-32 |
| 柴田真信 | 研究トピックス 果樹園でのインセクタリープ ラントの活用 | ながさきの果樹 | 57(4) | 14 |
| 山下次郎 | スマート農業技術の開発・実証プロジェクトの 取り組み | ながさきの果樹 | 57(5) | 26 |
| 柴田真信 | 5月の重点管理「病害虫防除(柑橘類)」 | ながさきの果樹 | 57(5) | 43-44 |
| 石本慶一郎 | 長崎みかんの品質向上対策 | ながさきの果樹 | 57(6) | 10-12 |
| 柴田真信 | 6月の重点管理「病害虫防除(柑橘類)」 | ながさきの果樹 | 57(6) | 43-45 |
| 法村彩香 | 露地および加温施設栽培におけるウンシュウミカン「長崎果研原口1号」の特性 | ながさきの果樹 | 57(7) | 18-19 |
| 柴田真信 | 7月の重点管理「病害虫防除(柑橘類)」 | ながさきの果樹 | 57(7) | 34-35 |
| 柴田真信 | 8月の重点管理「病害虫防除(柑橘類)」 | ながさきの果樹 | 57(8) | 33-35 |
| 前田良輔 | ウンシュウミカン仕上げ管理について | ながさきの果樹 | 57(9) | 14-17 |

| | 研究トピックス⑨ウンシュウミカン「原口早生」 | | | |
|-------------------------------|---|-------------------------------------|-------------|-------------|
| 石本慶一郎 | における浮皮果およびジベレリン・プロヒドロ ジャスモン混合液散布による緑斑・着色遅延 | ながさきの果樹 | 57(9) | 18 |
| | の樹体内発生部位 | | | |
| | 9月の重点管理「病害虫防除(柑橘類)」 | ながさきの果樹 | 57(9) | 32-33 |
| 小嶺正敬 | ビワの腐敗果対策について | ながさきの果樹 | 57(10) | 4-6 |
| 柴田真信 | 10月の重点管理「病害虫防除(柑橘類)」 | ながさきの果樹 | 57(10) | 30-31 |
| 山下次郎 | 温州みかん、中晩柑の青果率向上について | ながさきの果樹 | 57(11) | 10-12 |
| 柴田真信 | 11月の重点管理「病害虫防除(柑橘類)」 | ながさきの果樹 | 57(11) | 33-34 |
| | 次年産に向けた高品質ウンシュウミカンの生 | | | |
| 法村彩香 | 産に向けた諸対策(栽培管理編) | ながさきの果樹 | 57(12) | 4-6 |
| 柴田真信 | 12月の重点管理「病害虫防除(柑橘類)」 | ながさきの果樹 | 57(12) | 35-36 |
| | 研究トピックス①スピードスプレーヤ防除体 | | | |
| 石本慶一郎 | 系におけるヒリュウ台「青島温州」の定植後の | ながさきの果樹 | 58(1) | 26 |
| | 販売金額試算 | | | |
| 柴田真信 | 1月の重点管理「病害虫防除(柑橘類)」 | ながさきの果樹 | 58(1) | 45-46 |
| 法村彩香 | ウンシュウミカン「長崎果研させぼ1号」の未 | ながさきの果樹 | 58(2) | 18-19 |
| 柴田真信 | 収益短縮育成システムの確立 | カボキキの 田 掛 | | 26 |
| (宋田県信 (山下次郎 | 3月の重点管理「病害虫防除(柑橘類)」 させぼ温州 | ながさきの果樹 最新農業技術 果樹 | 58(3) 13 | 36 61-65 |
| 田上(父母) | では40円 | 取利辰未仅州 木倒 | 13 | 190 Ø |
| 山下次郎 | させぼ温州 | 農業技術大系果樹編 | 1-1 | |
| | 次年産に向けた高品質ウンシュウミカンの生 | | | 42-46 |
| 藤山正史 | 産に向けた諸対策(土壌管理編) | ながさきの果樹 | 57(12) | 7-9 |
| | 次年産を見越したビワ収穫後の栽培管理に | たいととの田村! | 55(0) | 10.16 |
| 古賀敬一 | ついて | ながさきの果樹 | 57(6) | 13-16 |
| 松本紀子 | 落葉果樹の夏季の新梢管理 | ながさきの果樹 | 57(6) | 17-19 |
| | 研究トピックス®ブドウ「BK シードレス」の品 | | | |
| 古賀敬一 | 種特性とジベレリン浸漬処理回数の違いによ | ながさきの果樹 | 57(8) | 18-19 |
| 1. +n 14 | る果実特性 | m 1 | | |
| 古賀敬一 | 果樹園芸管理のポイントビワ | 果実日本 | 75(5) | 101-103 |
| 古賀敬一 | 果樹園芸管理のポイント ビワ | 果実日本 | 75(7) | 115-117 |
| 古賀敬一 | 果樹園芸管理のポイント ビワ | 果実日本 | 75(9) | 101-103 |
| 松本紀子 | 落葉果樹の冬季管理のポイント | ながさきの果樹 | 57(11) | 13-15 |
| 古賀敬一 | 果樹園芸管理のポイント ビワ | 果実日本 | 75(11) | 102-103 |
| 松本紀子 | 研究トピックス⑫温暖化対応品種モモ「さくひ | ながさきの果樹 | 57(12) | 18-19 |
| | め」の生育特性 | | | |
| 松本紀子 | 落葉果樹の春季管理 | ながさきの果樹 | 58(2) | 12-13 |
| 松本紀子 | 春の目覚めがいい暖冬でも開花が早まるオ キナワ台木 | 現代農業 | 100(3) | 184-185 |
| | イノソロハ 研究トピックス③ビワ「なつたより」着房枝の 4 | | | |
| 古賀敬一 | 月切り返し処理による開花調整と次年産結 | ながさきの果樹 | 58(3) | 14-15 |
| | 果枝長の短縮 | | 30(3) | 17 13 |
| LH | 乾乳期間 40 日で周産期病発生抑制などに | - 11 · · · · | | |
| 堤 陽子 | 効果 | デーリーマン | 2月号 | 70-71 |
| | | 「気象リスクに対応した安 | | |
| *金子 真・塩屋ちひろ・ | 極晩生ギニアグラス「うーまく」の安定多収栽 | 定的な飼料作物生産技 | | |
| 二宮京平 | 培技術 | 術の開発」技術紹介パン | | |
| × 小川 | Standaller Str | フレット | | |
| *米澤隆弘·*都築政起·* 今村安孝·*松崎正治·松 | ミトコンドリア DNA 調節領域完全長配列に基 | A 1: : D | | |
| ラ科女学・*松崎正石・松 永将伍・深川 聡・*小川 | づいた日本鶏の起源と進化に関する系統遺 伝学的研究(The origin and histori of native | Archivio Per L'antropologia E La | 特集号 | 66-89 |
| 博•*佐々木剛•*秋篠宮 | Japanese chickens based on the mitochondria | Etnologia E Ea | 13.76.7 | 00 07 |
| 文仁•*山本義雄 | DNA) | _ | | |

3. 広報関係

(1)新聞

| 投稿者名 | 発 表 課 題 名 | 新聞社名 | 年月日 |
|-------|---|----------------------|----------|
| 寺井清宗 | 茶の乗用型少量農薬散布機 防除効果は慣行同等 散布量やコスト低 減 | 日本農業新聞(農業 技術プリズム) | R2.4.14 |
| 波部一平 | じゃがいもの青枯病 抵抗性品種めざして室内検定法で迅速化 | 日本農業新聞(農業 技術プリズム) | R2.4.24 |
| 古賀潤弥 | 水稲「なつほのか」の生育診断 収量・品質アップへ 穂肥前の指標定まる | 日本農業新聞(農業 技術プリズム) | R2.5.12 |
| 前田 衡 | イチゴ「恋みのり」栽培特性 春先まで収穫切れず 「ゆめのか」と併用も | 日本農業新聞(農業 技術プリズム) | R2.5.26 |
| 稗圃直史 | ビワ加工用需要の拡大 食味保てる急速凍結 スイーツ向けに有望 | 日本農業新聞(農業 技術プリズム) | R2.6.9 |
| 法村彩香 | 早生温州ミカンの長期貯蔵 調製剤と貯蔵庫併用 60日後でも品質維 持 | 日本農業新聞(農業 技術プリズム) | R2.6.23 |
| 飯野慎也 | バレイショ「ながさき黄金」多収化 植え付けは2月中旬黒マルチで腐敗 抑制 | 日本農業新聞(農業 技術プリズム) | R2.7.14 |
| 清水マスヨ | 尿素肥料の施用削減 硝酸化成抑制材入り 半分の量で収穫十分 | 日本農業新聞(農業 技術プリズム) | R2.7.28 |
| 柴田哲平 | 耕うん同時畝立て施肥マルチ体系 水稲の後作タマネギ 省力的で適 期に作業 | 日本農業新聞(農業 技術プリズム) | R2.8.11 |
| 塩屋ちひろ | イタリアンライグラス新品種 エン麦と混播で増収 強いいもち病抵抗性 | 日本農業新聞(農業 技術プリズム) | R2.8.25 |
| 鍵野優子 | カーネーション安定生産 萎凋細菌病抵抗性のスプレイ2品種育成 | 日本農業新聞(農業 技術プリズム) | R2.9.8 |
| 古賀敬一 | ブドウ「BKシードレス」 高温下でも着色良好 ジベ処理1回でOK | 日本農業新聞(農業 技術プリズム) | R2.9.22 |
| 石本慶一郎 | 温州ミカン浮き皮果 GP処理で浮き皮軽減 樹体表層中心に散布を | 日本農業新聞(農業 技術プリズム) | R2.10.13 |
| 平山裕介 | 県内農耕地の土壌環境調査 ケイ酸不足が深刻化 リン酸は各地で差 | 日本農業新聞(農業 技術プリズム) | R2.10.27 |
| 松本健資 | バレイショ「アイマサリ」低コストで4月出荷 一期作産種芋が適す | 日本農業新聞(農業 技術プリズム) | R2.11.10 |
| 松本紀子 | ハウス桃「さくひめ」休眠覚醒期 DVRモデルで予測 暖冬年でも栽培 安心 | 日本農業新聞(農業 技術プリズム) | R2.11.24 |
| | スマート農業最新情報学ぶ 雲仙市で現地検討会 | 全国農業新聞 | R2.12.4 |
| | 長崎県 防除/搬送 UVG など ブロッコリーのスマート技術体系 | 農機新聞 | R2.12.8 |
| 難波信行 | タマネギベと病の初発予測 積算温度から推定し巡回の効率化めざす | 日本農業新聞(農業 技術プリズム) | R2.12.8 |
| 中山久之 | ミカン混合発酵茶の機能性 冷え改善効果を実証 疲労感の軽減など も | 日本農業新聞(農業 技術プリズム) | R3.1.19 |
| 松本信助 | 子豚の死亡事故抑制 大腸菌症様にはギ酸添加リキッド飼料 | 日本農業新聞(農業 技術プリズム) | R3.2.9 |
| 古賀敬一 | ビワ着房枝の切り返し 開花の前進化抑制に4月下旬実施が有効 | 日本農業新聞(農業 技術プリズム) | R3.2.23 |
| 小関 薫 | ハラン林間栽培 青葉増加は趣旨繁殖 定期的に個体除去を | 日本農業新聞(農業 技術プリズム) | R3.3.9 |
| 法村彩香 | 温州ミカン定植後の生育促進 アミノ酸・有機酸共感濃縮液を株元に施用 | 日本農業新聞(農業 技術プリズム) | R3.3.23 |
| | | | |

(2)テレビ・ラジオ

| 部門•室名 | 内容 | 放送局名 | 年月日 |
|------------|---------------------------------------|-----------|----------|
| 研究企画室 | アグリイノベーション研究開発プラットフォーム現地検 討会が開催される | NHK 長崎放送局 | R2.11.20 |
| 茶業研究室 | お茶の研究の取り組みとおいしいお茶の淹れ方 | NBC 長崎放送 | R3.1.18 |
| 中小家畜•環境研究室 | 世界一の九州がはじまる 一対馬地鶏一 | NBC 長崎放送 | R3.3.14 |

4. 品種

| 育成者名 | 区分(出願· 登録) | 品目 | 品種名 | 番号 | 年月日 |
|------|---------------|-----|---------|-------|--------|
| 久村麻子 | 出願公表 | 小ギク | 長崎 SRC2 | 34595 | R2.7.9 |

^{*}は他機関の研究者を示す